



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成30年11月号④】

秋晴れが、すばらしい季節です

《重点目標》『品格を高め、目標に向かってねばり強く取り組もう』

3年生の皆さんは、12月の3者面談で希望の進路をほぼ決定することになります。保護者の皆さん、もう一度お子様の将来の夢や希望について、お子様とじっくり時間をかけて話し合ってくださいをお願いします。

生徒の皆さんは、公立高校や私立高校を選択する際には、その学校の魅力も大切ですが、現在の学力、通学の時間、部活と学習の両立等、様々な条件を考えて、本当にこの高校で良いのか、自分にとってこの選択が良いのかをしっかりと考え、家族で十分に話し合いをして、面談で担任の先生と相談できるようにしておいてください。ただ単に、友達や家の人が、ここが良いと言っているからではなく、すべては、自分の将来のためであることを考えて決断してほしいと思います。

【校地内の交通事故防止】

2学期期末テスト5日前の夕方の光景です。テストが終了するまでの間は部活動は休みとなり、これまでの授業の総復習をするなど、家庭学習に本腰を入れるための期間となります。普段と異なる時間帯は、交通事情も異なります。

この間は全学年一斉下校であり、帰りの学活終了後の時間帯は送迎の車で混雑しました。今後とも、保護者の皆さまには、校地内の送迎の際、車をスムーズに移動していただくことが校地内における事故の予防につながります。

過日の文化祭前の約2週間もそうでしたが、送迎の車で混み合い、危険性が高まるような時には教職員ができるだけ誘導にあたり、送迎の車がスムーズに移動することができるように努めております。誘導にご協力をお願いします。

さて、校地内で最も危険度の高い場所は、実は全ての車が通る校門です。

校門から入ってくる送迎の車、徒歩や自転車、下校する生徒、それぞれの動線が交錯する場所のためです。また、校門は下り坂となっており、加えてハンドルを切りながら曲がって入らなければならない箇所でもあり、視界がよくない状況も加わります。

今後とも、保護者の皆さまや学校に御用の地域の皆さまにおかれましては、校地内は徐行で移動していただくとともに、特に校門を通過する際は、細心の注意を払っていただきますようお願いいたします。



【今月のポイント】

<相田みつを>

わたしは無駄（むだ）にこの世に生れてきたのではない。
また人間として生れてきたからには無駄にこの世を過ごしたくない。
私がこの世に生れてきたのは
私でなければできない仕事が何か一つこの世にあるからなのだ。
それが社会的に高いか低いかわそんなことは問題ではない。
その仕事は何であるかを見つけ、
そのために精一杯の魂を打ち込んでゆくところに
人間として生まれてきた意義と生きてゆくよろこびがあるのだ。

【60名の札幌交響楽団 来校】

11月16日（金）に、本校体育館において、札幌交響楽団による本格的なクラシックコンサートを実施いたしました。総勢60名による演奏は、圧巻であり感動を味わうことができました。保護者の方々もご参加いただきありがとうございました。演奏曲は、以下のとおりです。



①J.ウィリアムズ：「ロサンゼルスオリンピックのためのファンファーレ」より

②アンダーソン：舞踏会の美女

＜楽器紹介コーナー＞

③チャイコフスキー：「くるみ割り人形」より「花のワルツ」
＜オーケストラと共演してみよう＞

④ビゼー：「カルメン」より「トリアドル」

＜みんなで歌おう＞コーナー

⑤山本直純（編曲）：日本の歌メドレー
（夕やけこやけ、七つの子、ふるさと）

＜指揮者体験コーナー＞

⑥スラームス：ハンガリー舞曲第5番より

＜みんなで歌おう＞コーナー

⑦鹿島中学校校歌～オーケストラVer. ☆

⑧エルガー：行進曲「威風堂々」第1番

指揮者体験コーナーでは、代表生徒3名のそれぞれの指揮に、交響楽団の方全員がリズムを合わせて演奏していただきました。代表生徒たちにとっては、自分の指揮で、交響楽団全体の演奏を左右するという緊張感の方が上回っていたかもしれませんが、それぞれ立派に指揮をこなすことができました。

生徒3人それぞれの指揮に応じて忠実に演奏する交響楽団の方の姿は、さすがプロといった感じでした。指揮者体験をした代表生徒3名には指揮を終えた後、指揮者という大役を務めたねらいとして、札幌交響楽団の指揮者さんのサイン入り指揮棒をプレゼントしていただきました。

こうした交響楽団の生の演奏を聴く機会はほとんどの生徒にとって初めてで、感動もひとしおでした。札幌交響楽団の皆さん、本当にすばらしい演奏と感動を、ありがとうございました。



（楽器演奏の体験）